



WEB形式「日本で暮らす多様な 外国生まれの患者さんとその対応」

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、現状では渡航外国人患者の受入れの見通しは立っていない状況ではありますが、延期されたオリンピック・パラリンピックも見据え、外国人患者受入れについて考えていきます。言語だけでなく宗教や文化においても理解を深め、国籍問わず誰もが安心して受診できる環境づくりに寄与する目的で地域連携セミナーをWEB形式にて開催します。

【日時】2021年3月10日(水) 18時~19時30分

【対象】地域の医療・保健・福祉関係者(職種は問いません。)

【講師】神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所 港町診療所 沢田 貴志 所長

- 1 「横浜市立市民病院の外国生まれの患者さんにやさしい取組」
横浜市立市民病院 経営戦略課 ヨン ミー チュー
- 2 「外来を訪れるさまざまな外国生まれの患者さんを診る」
神奈川県勤労者医療生活協同組合 港町診療所 所長 沢田 貴志

受講方法 : Zoom アプリを使用。

※通信環境やシステムは各自ご準備ください。

- ①事前に Zoom アプリをダウンロードしてください。
- ②研修会当日は、開始5分前に、招待メール添付のURLへログインしてください。
- ③研修会定刻に、当方にて参加許可をした後に、セミナー回線と繋がります。
- ④Zoomのアカウント名は、申込者氏名と同一になるように登録をお願いいたします。また参加する際に、アカウント名が公開されますのでご了承下さい。

沢田 貴志 所長

1986年千葉大学医学部卒、東京厚生年金病院で医長を務めた後、現職。専門医としての診療の傍ら、神奈川県医療通訳制度の構築や外国人の結核・感染症対策に取り組む。東京大学大学院など4つの大学で非常勤講師

【申込方法】

締切：令和3年3月2日(火)



必要事項をご記入の上、メールもしくはバーコードを読み込んでお申込み下さい。(先着100名)

メールアドレス：by-partner@city.yokohama.jp

記載事項：部署名、氏名、職種、メールアドレス

横浜市立市民病院 患者総合サポートセンター
事務担当 高橋・畑
TEL：045-316-4580